

第16回全日本ユース(U-16)水球選手権大会－桃太郎カップ－【戦評】

会場：倉敷市屋内水泳センター 【2023/12/25】

この試合のプレー集計

男子Dリーグ戦

山形県選抜

5

1	—	1
1	—	3
1	—	1
2	—	1

6

高知県選抜

PSO

御崎 智徳

審判：

塚本 龍一

山形県選抜	15	SH数	17	高知県選抜
	3	速攻数	2	
	9	ST・SB	11	
	2	SH・P誘発アシスト	2	
	45%	GK阻止率	58%	
	6	EX反則数	2	

ST・SB：ボール奪取・SH阻止

【試合の流れ】

両チームともにリーグ戦での1勝をかけての一戦。チーム力は互角なだけに、勝負は後半での粘りとミスがポイントになるだろう。特に勝負をかけた攻撃時の連係ミスは、双方、カバーリングに難があるだけに避けたいところ。

【1P】

高知がペナルティを誘発して先制点をマーク。対する山形もペナルティを誘発して同点に持ち込むという序盤の展開となった。それだけ双方のディフェンスに弱点を抱えながらの試合運びの様相を呈した形。その後も山形はペナルティを誘発してチャンスをつかむが、シュートが決まらない。その後、退水攻撃などもあったが、双方に決め手を欠き1-1で第1ピリオド終了。両チームともに攻撃時の約束が不十分な状況で、攻撃の起点となるポジショニングやパス出しの方向性に問題がある状態。そうした悪循環を改善した方が有利になりそうな序盤となった。

【2P】

山形のオフェンス反則から左サイドを泳いだ高知⑤別府が決めて高知がリードを奪うが、高知も攻撃時のミスが多く、そこを山形が突いて、ゴール前でボールを展開して⑥森が決めて同点に。しかし、山形はミスからペナルティを含む連続失点で、山形2-4高知で第2ピリオド終了。双方ともに攻撃時の悪循環は解消されておらず、ミスの多さが失点につながっている状態だ。

【3P】

このピリオド、お互いになかなかシュートにまでたどり着けず、プールの往復に時間を費やす展開となった。ピリオド中盤に、高知が山形のオフェンス反則から攻め上がり、③村田が決めてリードするが、山形もセンターで②五十嵐が決めて追撃。その後は見せ場もないまま、山形3-5高知で第3ピリオド終了。

【4P】

点差を詰めた山形が⑨金澤のミドルSHを決めて1点差に。その後も攻撃の手を加えるが、高知GK⑬有藤にブロックされて追いつけない状態が続く。しかし、⑦遠藤がカウンター攻撃を決めてようやく5-5の同点に持ち込む。高知は急に攻撃の手を休めてしまっているかのように元気がなくなり、やや防戦一方の展開。残り時間1分で高知ベンチはタイムアウトを取って鼓舞するも、ボールが繋がらず失敗に終わったが、その後の攻撃では⑥前田が左サイドから決めて高知がリードを奪う(残り23秒)。これが決勝点となって山形5-6高知で高知が勝利を収めた。